

## シンガポールで 販促セミナー開催

ブランドおおいた輸出促進協議会水産部会(会長:大屋寛県農林水産部審議監)は、シンガポールでの販路を開拓するため、現地のシェフや水産物バイヤーを対象にセミナーを開催した。

県漁協も参加し、かぼすブリについて講演し、試食・求評を行った。評価は高く、今後の取引が期待される。【▽2面に詳細】



## 農林水産業費503億円

### 令和7年度県当初予算案

佐藤樹一郎知事



を創造できる大分県づくりを進めるとしている。  
このうち農林水産業費は、「自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業」の実現に向け503億円を計上した。  
水産業に係る具体的な事業は表のとおり。

県は10日、令和7年度の当初予算案を公表した。  
総額は7026億円余と昨対1.9%増、新長期計画を反映した大型予算となつている。「共生社会おおいた」「選ばれのおおいた」の実現に向け、誰もが安心して元気に活躍できる大分県、知恵と努力が報われ未来



ロゴマーク活用へ

JF大分

# 水産おおいた

2025年  
03月

175号

発行元  
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>

| 事業名                      | 7年度当初予算案<br>(6年度当初予算案) | 事業の概要                                                                                                                                                                                                                       | 所管課         |
|--------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 漁業担い手総合対策事業              | 26,011<br>(24,333)     | 意欲ある漁業の担い手を確保・育成するため、漁業学校の研修生や新規就業者に対し給付金を交付するとともに、人材育成に向けた研修等を実施する。<br>・研修修了後に独立経営を開始する漁船漁業者の船舶等購入への助成(5名)<br>補助率 2/3(県1/3 市町村1/3)<br>限度額 300万円<br>対象期間 研修中から修了後5年以内<br>(1年以内→5年以内に延長)<br>【新】中核的漁業者による付加価値向上等に向けた取組への支援 など | 水産振興課       |
| 【特】環境変化対応型養殖推進事業         | 28,000<br>(0)          | 環境変化に対応した持続可能な養殖業への転換を図るため、スマート技術を活用した生け簀の長期沈下状態での養殖手法の実証等に取り組む。                                                                                                                                                            | 水産振興課       |
| 【特】養殖魚生産力強化事業            | 17,780<br>(0)          | 養殖魚の生産体制の強化を図るため、産官学連携による新たな飼料の導入実証等に取り組む。<br>・企業等との連携による蒲江加工センターから排出される養殖ブリの加工残渣を原料とした低コスト飼料の導入実証 など                                                                                                                       | 水産振興課       |
| 【特】海づくり大会を契機とした水産物消費拡大事業 | 38,500<br>(0)          | 全国豊かな海づくり大会を契機とした県産水産物の消費拡大を図るため、県民の水産業への関心の高まりを次世代へ継承する取組を実施するとともに、新たな販路開拓に向けた取組等を支援する。<br>・県内小中学校等の給食への県産魚の提供<br>・小中学生を対象とした「海づくり教室」の開催<br>・大会ロゴマークを活用した県産水産物消費拡大キャンペーンの実施 など                                             | 漁業管理課       |
| 漁業取締船代船建造事業              | 432,330<br>(8,000)     | 秩序の維持と漁業関係法令違反の抑止を図るため、漁業取締船「あさかぜ」の代船建造を行う。<br>〔債務負担行為 644,131千円〕                                                                                                                                                           | 漁業管理課       |
| 農林水産物輸出需要開拓事業            | 40,791<br>(24,559)     | 海外の市場を取り込み農林水産業者の所得向上を図るため、ブランド大分輸出促進協議会等が行う輸出拡大の取組を支援する。<br>【新】養殖ブリのフィレやロインなど高次加工品の販促                                                                                                                                      | おおいたブランド推進課 |

## 2 面

### シンガポールで 販促セミナー



## 3 面

### パートナー認定



### かぼす魚販促



## 4 面

### 理事会等 サワラ協議会

## 5 面

### 水研だより 全海水シンポ

## 6 面

### 各賞受賞等 広戸さん投稿



## シンガポールで 販促セミナー開催



かぼすブリについて講演する高橋部長



金子産業は養殖クロマグロを説明



試食してもらい評価を聴く

水産部会は、現地在住の新市場開拓アドバイザー  
天野礼子氏に委託し、シンガポールでの水産物の販  
路開拓を進めている。その一環として、12日に現地  
で水産物セミナーを開催した。会員である県漁協が  
「かぼすブリ」、金子産業が「養殖クロマグロ」について  
紹介し、レストランのシェフや水産物バイヤーら9名  
が聴講。刺身等を試食していただき評価を聞いた。  
かぼすブリは刺身とりゅうきゅうで提供した。参  
加者からは「柑橘の味が実際にする」、「とても食べや  
すいブリだ」、「りゅうきゅうの食べ方はとてもよい」  
といった意見が聴かれた。県漁協からは「加熱すると  
さらに柑橘の香りがすること」等をアピールした。  
セミナーに先立つ11日、レストランフェアを開催す  
る「トリオ」を表敬訪問し、打合せを行った。17日か  
ら2週間程度、かぼすブリは刺身や寿司、一部はグ  
リルで、ハモは揚げ物で提供する予定。シェフは愛媛の  
みかん鯛を使用したことがあり、かぼすブリを使う  
のが楽しみとのこと。また、骨切りなどハモの扱いにも  
慣れている。  
12日にはオーチャードの三越伊勢丹を視察し、日  
本産水産物等の状況を調査した。現地ではサーモン



かぼすブリ・刺身



かぼすブリ・りゅうきゅう



レストランフェアを開催予定の「トリオ」



三越伊勢丹で市場調査、サーモン中心の棚に兵殖のブリも

の人氣が高く売り場はサーモン中心だったが、兵殖の養殖ブリ  
も販売されていた。兵殖によれば、かなり以前にPR販促を実  
施して以来継続して扱われているとのこと。価格は2切れで1  
4・8ドル(約1600円)と高額だ。  
今回のシンガポール訪問を通してシェフやバイヤーの日本産食  
材に対する関心は高いことを実感した。県の担当者は「産地ツ  
アーの企画など、実際に現場をみてもらうことで大分県産品を  
選んでもらうような仕掛けが必要」とし、さうそく18日に関係  
者を招聘。20日までの3日間、天野アドバイザーとバイヤー、  
シェフに県漁協のハモやブリの加工場、クロマグロやブリの養殖場  
を視察していただいた。今後の取引が期待される。

8月28日  
「かぼすブリ」をPR



17日、下関・ヒラメの日に  
PR「かぼすブリ」試食

## カボス養魚の販促進む！

12月18日、高島屋新宿店  
で県産品PRフェア  
「かぼすブリ」をPR  
海洋科学高校生が  
「かぼすブリ」をPR



17日、京都市中央市場  
「かぼすブリ」料理教室

18日、京都市内の量販店  
で「かぼすブリ」をPR



## パートナーシップ飲食店に認定 イートファクトリー ホールディングス

県は、おおいたの魚パートナーシップ飲食店に(株)イートファクトリーホールディングス(大阪市北区天神橋)を認定した。佐藤知事は18日、県庁に山口功代表取締役を招き認定証を贈呈した。



山口代表取締役(右)と佐藤知事

同社は関西圏を中心に「屋台居酒屋大阪満マル」、すしや「コトブキツカサ」など飲食事業を基幹に展開している。大阪満マルは国内61店舗、海外4店舗(ベトナム、フィリピン)に及び、大分市でも大分中央町店を営業している。平成27、28年に「かぼすブリ」がメニューに取り入れられ、令和2年11月～3年3月には関西約45店舗と大分店で、現在も昨年11月から関西約30店舗と大分店で「かぼすブリフェア」が開催されている。

認定を受けた山口代表取締役は「名誉あるパートナーに選ばれた。かぼすブリはお客様から高く評価されている。今後もより一層取り扱いたい」と謝意を表した。佐藤知事は「大分を代表するブランド魚であり、ご利用に感謝する。良きパートナーとして今後もご愛顧を宜しく願いたい」と期待を示した。

これまで県が認定したパートナーシップ店は量販店が3社、今回で飲食店も3社となった。



### おおいたの魚パートナーシップ店

県は、県産の水産物の販売促進に協力的な量販店や飲食店を認定し、認知度向上や消費拡大を図っている。

#### 2年認定

**Belc ベルク** 株式会社  
ベルク  
(埼玉県等136店舗)

#### 3年認定

**株式会社 ウオロクH**  
(新潟県等44店舗)

**株式会社 オギノ**  
(山梨県等41店舗)

#### 4年認定

**梅丘寿司の美登利** 美登利総本店  
(東京都等27店舗、海外5店舗)

#### 5年認定

**ロイヤルフードサービス** (天井てんや)  
(国内・天井てんや145店舗、  
天ぶらてんや3店舗  
海外・天井てんや32店舗)

## 令和6年度決算処理の方向性を共有

### 第10回理事会を開催

18日、第10回理事会を開催した。

第1号議案「組合員の異動について」では、准組合員への新規加入11人、譲渡加入3人、相続加入1人及び准組合員から正

組合員への資格変更4人について承認した。

協議・報告事項では、①余裕金の運用状況、②令和6年度上半期監事監査の指摘事項について及び③信用事業譲渡に向け

## 大口不良債権回収の実績を了承

### 第3回JFマリンバンク大分県会議

第10回理事会に先立ち、農林中央金庫福岡支店主催の大分県会議があり、理事が出席した。

大口不良債権20先の回収実績、今後の方針等について報告

があり、状況を了承した。また、信用事業譲渡に向けた取組についても認識を共有した。

今後は、加工センターの稼働状況や増資実績の見える化も必要となる。

## 事業承継者の選定等を決定

### 県漁船リース協会第2回理事会

第10回理事会終了後、一般社団法人大分県漁船リース協会（中根隆文会長）の第2回理事会有った。

第1号機案「破産手続開始に伴う事業承継者の選定について」

では、リース漁船の借主（使用者）が破産手続きを開始したことに伴い承継者を募ったところ、資格要件を満たす2者から応募があつたため、収支状況や共販利用等を勘案し、事業承継者

を選定した。

第2号機案「漁船リース事業取下げ後の再申込み者の取扱について」では、操業中の事故で事業を断念した者が再度申請することを認めた。

第3号機案「漁船リース事業借受者申込資格内規の一部改正について」では、借受者の倒産が2件続いたため、漁業共済への加入と直近に債務超過でないことを条項に加えた。

た九州信漁連との守秘義務契約を了承した。

また、今回の理事会では、監査を依頼している監査法人北三会計社から、令和5年度決算処理を踏まえた6年度決算処理の方向性について説明を受け、役員で共有した。

### 令和6年度第2回

### サワラ瀬戸内海系群資源管理漁業者協議会



25日、神戸市内のホテルで「本年度の第2回協議会」が開催された。

冒頭、主催者である全漁連の田中参事は「5年の漁獲量は過去最低値の10倍に増えたが、最近5か年は減少傾向にある。これまで続けてきた広域管理を継続するとともに、資源の公平な分配に移行していきたい。会の持ち方についても、アンケート結果を踏まえ検討したい」と挨拶。水産庁瀬戸内海漁業調整事務所の金子所長は「国の説明を踏まえ、3月4日の広調委に向け議論したい」と述べた。

### 現行の資源管理措置を継続へ

| 目標管理基準値案           | 限界管理基準値案            | 禁漁水準案               |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| 12,900トン           | 5,700トン             | 900トン               |
| MSYを実現する親魚量(SBmsy) | MSYの60%の漁獲量が得られる親魚量 | MSYの10%の漁獲量が得られる親魚量 |
| 2022年の親魚量          | MSY                 | 2021年の漁獲量           |
| 3,500トン            | 5,600トン             | 2,300トン             |
| -                  | 最大維持生産量             | -                   |

議事1は、令和6年度秋漁の操業状況及び資源評価の報告等で、まず各府県委員から「秋漁の操業状況」を報告した。本県も含め、前年に比べて減少した県が多い。次いで水産庁から「広域資源管理の実施状況等」、水研機構から「資源評価」について説明があつた。（結果は表のとおり）

これを踏まえ、議事2では令和7年度の資源管理措置は現行のとおりとし、8年度以降はステークホルダー会合や最新の資源評価を踏まえて検討を進めることで合意した。3月4日開催の瀬戸内海広域漁業調整委員会では委員会指示の発出が決まる。



## 水 研 だ よ り

## 令和6年度水産関係研究者連絡協議会研究発表会の開催

当部では水産関係研究者(水産研究部研究員、漁業公社職員、県振興局水産業普及指導員)の相互理解と資質向上を図るため、昭和45年から研究発表会を行っています。今年度は令和7年1月31日に大分県水産会館において開催しました。今回の発表会には水産関係研究者のほか、振興局や県庁の水産技術職員に加え、農業分野の技術職員なども会場に参集し、その他県の関係機関にはWebで同時配信しました。

今回水産研究部から6課題、北部水産グループから4課題、振興局水産業普及指導員から3課題の計13課題の研究発表を行いました。

それぞれの課題に対して多くの質問や意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



## 水産研究タイムリー情報

## 10月採卵ブリ種苗 現地養殖試験開始



「農林水産研究タイムリー情報」へのリンク

<https://www.pref.oita.jp/site/nourinsuisan/timelyjohou2017-3.html>

当部では4~6月の出荷端境期(養殖ブリ出荷量減少期)の解消に向けて、8月採卵ブリの種苗生産と現地試験を行っています(タイムリー情報No1732(2024年8月8日 発信)参照)。これとは別に昨年10月採卵ブリ種苗約1万3千尾を、1月16日に佐伯市蒲江の養殖場へ試験出荷しました。

8月採卵よりも2か月遅い10月に採卵したブリでも出荷端境期に高品質なブリとなるか、養殖業者と共に調査していきます。



## 第47回全国海水養殖シンポジウム開催

1月28日、愛媛県県民文化会館において恒例のシンポジウムが開催された。全国から430名、本県からは渡邊会長等24名が参加した。

魚類養殖業の窮状打開に向けた生産者間の共通認識の確立と養殖技術の向上が目的。養殖業者が未来を描くため、長崎大学の征矢野満教授が「養殖の未来を考えるー総合海洋産業としての養殖業ー」、愛媛県の渡邊昭生センター長が「愛媛県水産養殖研究センターにおける試験研究の現状と種苗生産・育種の事例」と題して講演を行った。

た。

水産庁栽培養殖課からは「養殖業成長産業化の推進」について説明があつたが、出席者からはセーフティネットや積立ぶらすの見直し・縮小に対する厳しい意見と要望があつた。

次回は熊本県で開催される。

未来の養殖業を考える

「養殖業界激動の時代を迎えて」



この日は、大会実行委員会の第7回幹事会も開催され、実績報告書による詳細な説明があり、事業報告と収支決算見込(案)が承認され、本年度末に実行委員会を解散することとなった。

第43回全国豊かな海づくり大会式典行事で天皇皇后両陛下が稚魚等のお手渡しに使われた容器が、20日県漁協に贈呈された。

容器は、本県の伝統的工芸品である別府竹細工の「六ツ目編み」等の技法を用いて別府竹製品協同組合が制作したもの。県

漁協に贈られた容器は、天皇陛下がイサキの稚魚を鶴見地区漁業副運営委員長の神崎隆実さんにお手渡しされた。水産会館4階の県漁協執務室入口のカウンタ―上に展示されている。

容器は四つあり、生徒が式典補助員等を務めた大分西高と別府市竹細工伝統産業会館に贈られた。



高田淳史室長から贈呈を受ける中根組合長



水産会館4階に展示された「お手渡し容器」

## 県漁協に贈呈・展示 豊かな海づくり大会「お手渡し容器」

## 上入津地区作業部会に全漁連会長賞 浜の活力再生プラン優良事例受賞者に決定

JF全漁連と水産庁は20日、漁業所得の向上を図るため全国で実施されている「浜の活力再生プラン」の中で、他の地域の範となる優良な取組に対して表彰を行う「令和6年度浜の活力再生プラン



優良事例表彰」の受賞者を決定した。本県の佐伯地区地域水産業再生委員会入上津地区作業部会は、全国漁業協同組合連合会会長賞に選ばれた。評価された内容は以下の通り。

- ・総合水質計、ドローン等のICT機器を活用した、赤潮調査実施
- ・ブリの魚価向上を図るため、手動メ機の整備、ブランド化推進
- ・クルマエビについて囲い網による馴致放流実施
- ・イサキ、クルマエビ等の体長制限による漁獲規制
- ・漁船の減速走行による消費燃料削減

表彰式は3月10日に農林水産省本館7階講堂で開催される。

大分合同新聞の「読者の声」に臼杵の広戸とよ子さんの投稿が掲載されました。漁業の置かれた環境が厳しさを増すなか、広戸さんの言葉には本当に励まされます。読まれた方も多いと思いますが、ここに転載させていただきました。広戸さんは豊の浜塾の第2期生として活躍され、平成25年には指導漁業士に認定されました。漁業人生には終止符とありますが、今後のご健勝とご活躍をご祈念いたします。

大漁と幸あれと祈っています。

希望を持って漁に励んでください。

希望を持って漁に励んでください。

希望を持って漁に励んでください。

## 「めばる」に大日本水産会長賞 農山漁村女性活躍表彰受賞者に決定

農山漁村男女共同参画推進協議会が主催、農林水産省や全漁連などが後援する「令和6年度農山漁村女性活躍表彰」大日本水産会長賞に本県の漁村女性グループめばる(代表・小谷晃文)が選ばれた。1月24日に発表された。

この表彰は、農林水産業及び農山漁村の活性化、農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入などの優れた活動を行っている個人や団体を表彰し、女性が農山漁村でいきいきと活躍できる環境をつくり、農林水産業の発展に寄与することを目的としている。

「農山漁村女性の日」関連行事として、3月6日に表彰式が行われる。



浜プランについては全漁連 HP からプレスリリースを参照

<https://www.zengyoren.or.jp/>

女性活躍表彰は MY FARM HP からNEWSを参照

<https://myfarm.co.jp/>

## 漁業に大漁と幸あれ

臼杵市

広戸とよ子(76)

◇夫81歳、私76歳。55年の漁業人生に終止符を打った。長きにわたり働けたと思う。その間、潜水、イカ釣り、タチウオ漁をやってきた。

◇潜りは苦手であったが、周りの人の頑張る姿が励みになり、意識を変えられた。イカ釣りでは船酔いしたが、1カ月もすると慣れた。イカの引きに手応えを感じ、釣れる喜びが稼げる喜びとなり、意欲が出た。

◇時代の流れとともに漁業形態も変わり、タチウオ釣りに移行。当初は要領をつかめず悩む日々が続いた。いろんな方の助言を受け、研究、努力もした。そのかいあって皆のレベルに達することができた。厳しさの中にも充足感のあった漁業人生。幸せなことで感謝に尽きる。

◇近年の漁業を思う時、気候変動や温暖化で漁獲量は大幅に減少している。しかし、取れる魚は変わろうとも、海からの恵みは絶えないと昔からいわれている。漁業者の皆さん、希望を持って漁に励んでください。

2月1日付け 辞令交付

2月1日付けで29名の中堅職員に昇格・昇給辞令を交付した。また、5名の臨時職員を採用した。

【本店】 総務部総務課課長補佐(同係長)松原幹弘、  
信用事業部資金課係長(同主任)平川ともみ、  
経済事業部販売課(武蔵・杵築)鮮・活魚担当係長(同主任)平石光一郎

【中津支店】 総務課臨時(R6.10.28付新規採用)瀬口茉奈

【宇佐支店】業務課係長(同主任)永松佐恵子、板井和美、

製氷・保管・冷販課係長(同主任)田中一彦

【国見支店】 販売担当係長(同主任)寺川貴史

【姫島支店】 総務係長(信用係長)須賀保代、信用係長(同主任)岩本久美子

【くにさき支店】 購買・会計担当主任(同担当)吉本麻由子

【武蔵支店】 購買・販売・指導担当係長(同主任)大島義明

【別府支店】 総務担当主任(同担当)松本理恵、経理担当主任(同担当)平尾真理

【佐賀関支店】 信用課主任(同担当)三浦聖子、販売課主任(同担当)計野郁夫、鉄工部主任(同担当)西川智史

【津久見支店】 総務課係長(同主任)小野美紀

【保戸島支店】 信用会計係長(同主任)中島久美、信用兼販売担当係長(同主任)島田陽子

【鶴見支店】 信用課課長補佐(総務課課長補佐)安部 武、信用課主任(同担当)清家佳恵、販売課主任(同担当)平山 綾

【米水津支店】色宮營業店主任(同担当)石田昌也

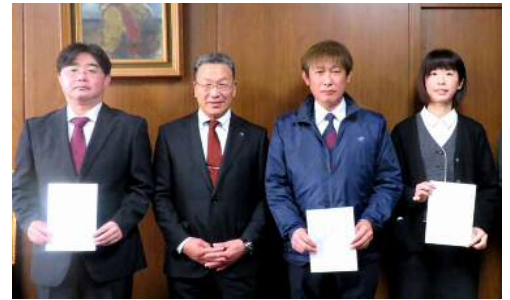
【下入津支店】 業務課係長(同主任)中濱勇樹、購買・共済係長(同主任)村松つぐみ、信用・購買係長(同主任)木許絵美、

信用課係長(同主任)竹内智子、販売課臨時(R6.11.1付新規採用)久壽米木孝太

【蒲江・名護屋支店】支店長(支店長代理)甲斐昌彦、信用課係長(同主任)高羽峰子

【米水津加工センター】総務課臨時(R7.2.1付新規採用)森田愛虹

【蒲江加工センター】 総務課臨時(R6.11.1付新規採用)井水美江子、早坂葉子



松原課長補佐、中根組合長、甲斐支店長、平川係長



皆さんのご活躍を祈念します！

**皆さん、ご参加下さい！**

2025年

# 関あじ 関さば まつり

**令和7年 3月8日(土) [雨天決行] 時間／9:00～14:00**

**会場／大分県漁協佐賀岡支店 荷捌施設周辺（関あじ関さは直売所）**  
※雨降降を設置しております。

---

**観のコーナー**（大分県漁協佐賀岡支店 荷捌施設周辺）

**「食券販売開始」9時から700食限定!**  
食券開始 10:00～14:00

- 関もめ刺身定食(700食限定) 1,600円(税込)  
関あじ・関さは：関ふり刺身、フワイ・リキマール・関ぐるめ付!
- 関もめの寿司6貫盛りセット(200食限定) 1,000円(税込)  
関あじ・関さは：関ふり・関ぐるめ付!

**開催行事**（大分県漁協佐賀岡支店 荷捌施設周辺）

- ◎9:00～ 主催者挨拶・開会式祝詞・芝居朗読
- ◎9:05～ 「関あじ関さは関係員」による大分県産水産物振興啓蒙
- ◎9:30～ 音楽演奏

**特産品販売コーナー**（各団体・商店）

◎9:00～09:30 関あじ・関さはの生魚・加工品・お菓子などの特産品販売  
大分県漁協佐賀岡支店・大分県漁協佐賀岡支部・大分県漁協佐賀岡地区協議会  
終了 14:00予定



**食券の  
先行販売受付**  
 700食・200食  
期間限定 2月14日(金)～28日(金)  
 詳細は  
 大分県漁協関係組合  
 佐賀岡支店  
 ホームページにて!!



写真提供：大分県漁協佐賀岡支店

◆主催 NPO法人さんでがきせきまちづくり協議会様  
◆主幹 大分県漁協佐賀岡支部・関あじ関さはの产销委員会  
◆後援 大分市・大分県・大分県新聞社・OB大分放送・TBSテレビ・大分・OJA大分新聞放送局  
協賛者の皆様

サカナをたべれば  
幸福が見えてくる

ウオ  
メシ

## 車えびフライ定食

姫島・姫乃家



姫島、仕事のあとのお楽しみは、何と言っても地元の水産物。とりわけ特産の車海老がいただければ最高。

姫乃家の車えびフライ定食(1700円)には大海老が2匹！さらにはヒジキもたっぷりと添えられていて、大満足である。つつい泡の出る飲み物が欲しくなるが、ここはじっと我慢(笑)。

## 編集後記

このところ、対面での会議が当たり前になってきた。こちらにお世話になった5年ほど前からはWEBが主流だったので、出張は新鮮ではあるが度重なりと辛い。

手帳を見ると2月は東京3回、神戸1回そして県内4回である。事務をする時間がない。

そんなわけで、目途がたつて編集後記を書くのは月が替わつた2日になつた。予定してゐて掲載できなかった記事は来月に回そうと思うが、3月も色々ありそうである。資料を頂きながら紙面に載らなかつた方にはお詫びします。

